

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 友の会	代表者	大寫 泰雅	法人・ 事業所 の特徴	当事業所は JR 八戸駅より車で5分程にある田面木地区にあり、古くからの住宅地です。国道104号線沿いにあり、八戸市の景勝のひとつ、在家堤（ざいけつつみ）に面しています。町内会や地域の協力の下、認知症高齢者や独居高齢者の暮らしの支援を行っています。
事業所名	小規模多機能ホーム ほっとハウス	管理者	武石 栄伸		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	高齢者支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	2人	0人	1人	1人	1人	2人	2人	11人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	①今後も自己評価を早めに取り組めるように、事前の勉強会の実施と環境づくりを行う。	①事前の勉強会を実施するとともに、不明な点があれば各自確認するようにし、取り組みやすい環境づくりに努めた。	①職員全体で取り組んでいる事が職員の振り返り、意識付けになるため、今後のより良いサービス提供につながると思います。また、継続することが重要ですので頑張ってください。	①引き続き事前の勉強会を実施し、改善計画の振り返りを定期的に実施する。
B. 事業所のしつらえ・環境	①担当職員がご利用者の情報収集や状況を把握し、ケアの内容をまとめ会議等で話し合い意見交換する事で、次の対応につなげていく。 ②訪問で対応に苦慮し支援が出来ない状況がある一方で、支援者が代わると支援が出来た内容が申し送りされてない事があるので、支援が出来た事柄を忘れず入力し情報共有できるようにする。	①担当職員が中心となりご本人のやりたいことなどを確認し、会議で気づいた事など話し合うことで、次の支援へとつなげることが出来ていた。 ②ケア記録や日々のミーティング、申し送りで情報共有出来ている。様子や状態など記録を細かく記入していることで、支援者が代わっても対応する事ができている。	①さらなる努力を重ねられ、入所者にとってより快適な施設としていただきますよう祈念いたします。 ②時間を作ることで活かされます。ミーティングなどを通して情報共有できればいいと思います。 ③個人への対応を意識して、検討を具体的に行うのが、とてもいいと思います。	①毎日の午後のミーティング時に、ご利用者1名を抽出し、話し合う時間を設ける。その際は、出来ていない事だけではなく、出来ている事にも目を向けるようにしていく。
C. 事業所と地域のかかわり	①地域貢献・広報委員会を中心に掲示板の内容を定期的に検討し、地域の方に小規模多機能居宅介護や施設の様子を知って頂く。	①掲示板に広報誌を掲示し施設の様子を知って頂くようにしていた。しかし、現在掲示板は風の強い日に壊れてしまい、地域の方からのご意見で撤去している。	①他のサービス機関などとオンラインで会議などが出来ればいいと思います。 ②地域とのかかわりについて、どのような取り組みができるのか考えて取り組むことが必要だと思っています。	①オンラインを活用し、学生や園児など地域との交流を図っていく。 ②民生委員や社会資源について、会議で具体例を取り上げて、チーム全体としてどのような役割が出来、取り入れていけるのか学んでいく。

	②サービス担当者会議に、ケアマネだけではなく事業所職員も参加し、他のサービス機関との連携・協働を図っていく。	②新型コロナウイルス感染拡大により、サービス担当者会議にケアマネ以外の職員が参加する事は出来なかったが、必要な情報は事業所職員へも情報共有しチームとして連携・協働が出来ている。	③時代に合ったオンライン形式での関りは、感染予防に役立ち、利用者さんを守ることができると思います。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	①地域でみていく為に、民生委員の役割や社会資源の内容、活用するまでの流れについて勉強会を通じて理解するとともに、事業所の活動について知って頂けように、地域の方々との話し合いの場を設ける。	①民生委員や社会資源を個々で調べる職員もいたが、全体として学ぶ時間を設けることができず、役割や内容、活用までを理解するまでには至らなかった。	①コロナ禍で行事等の減少から施設内での取り組みを知る機会が減少している。個人情報などに留意しながら、地域への発信を続けていただきたいと思います。 ②地域交流で施設の魅力を発信できるために、コロナと共に生活する中でも、様々な地域活動に参加されることを期待します。	①地域活動開催時には参加し、地域の一員としての役割を担っていく。Zoomで小学校（地域）と交流会等。 ②近くのよこまちスーパーに広報誌を掲示し、地域住民へ情報発信する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	①在宅での介護や認知症、虐待などについて、事業所でのケースや事例をもとに、それぞれの意見を頂く。	①運営推進会議が開催できていなかった為、委員の方の意見を聞くことが出来ていなかった。	①2ヶ月毎に地域ケア会議を開催しています。また、地域の課題についても検討したいと思います。 ②地域ケア会議もオンライン活用で開催出来ており、運営推進会議も可能かもしれません。	①コロナ禍で運営推進会議の開催も難しくなっている。今後、医療ニーズの高いご利用者も増えてくるため、その他のサービス機関や地域包括支援センターとの会議に、オンラインで看護師や職員も参加できるように体制づくりを行う。
F. 事業所の防災・災害対策	①事業継続計画の体制づくりが出来次第、職員全員へ周知を図っていく。	①BCPの取り組みを職員全員で確認し周知した。	①定期的に訓練を行い、習得したり見直しする事が重要だと思います。これからも継続をお願いいたします。	①BCPの見直し改善と訓練を繰り返す。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月3日 (13:30~14:00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 武石 岩館 高村 金光 内山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		○7	5	1	14

前回の改善計画

① 連絡帳にはレクの様子だけではなく、昼食時や午後の様子など1日を通して色々な職員が気軽にコメントを記入できるようにする。

② 遠方にいるご家族には広報を送り、施設での様子を知って頂く。

前回の改善計画に対する取組み結果

① 連絡帳の様式が変更となり、様子などコメントをあまり書くことはなくなった。しかし、連絡事項や確認したいことなどあれば記入したり、電話で確認し情報共有に努めている。

② 広報を送る担当を決めておらず、出来ていなかった。今後は、担当を決め遠方のご家族へも広報を送り、施設での様子を知って頂く様にしていく。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	○7	6			13
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	○9			13
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	6	○7			13
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	4	○5	4		13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用開始前にケアマネから職員全員に情報提供をし、情報やサービスを共有できている。
- ・通いや訪問時に、ご利用者の言葉や様子など気になる点は申し送りやパソコン、ノートに記載し、職員同士で再確認したりし共有は出来ている。
- ・連絡帳の様式が変わり、以前より様子を書くことがほとんどないが、状態や連絡事項があれば記入し情報共有に努めている。また、ご家族から情報を教えて欲しいと要望があった時には記入し情報共有したり、送迎時など良い関係性となるように、コミュニケーションを図るよう努力している。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・ご家族、介護者の不安を受け止められる関係づくりまで出来ていない。
- ・初期支援1か月は、ご本人の不安や状態把握することで精いっぱいになり、ご家族・介護者の不安や関係づくり(信頼関係)への配慮ができていない。
- ・連絡帳は現在、バイタルや排泄状況、特変などの状況を記載する様式に変わっている。その為、前回の改善計画の1日を通して色々な職員が様子などのコメントを記入するについては出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)

① 新規利用時1カ月は、ご利用時の昼のミーティングで必ず様子や言動などを議題にあげ職員同士で話し合う。その中で、気づいたことや不安などをくみ取り、情報共有し支援につなげていく。

② 連絡帳の様式は変更となったが、連絡事項や確認事項などの記入は継続し、ご家族と情報共有をしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月4日(13:30~14:00)

2. 「～したい」の実現(自己実現の尊重)

メンバー 武石 岩館 金光 館 田澤

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 前回の課題について取り組めましたか?	2	○10	1		13

前回の改善計画	① 担当職員がご利用者の情報収集や状況を把握し、ケアの内容をまとめ会議等で話し合い意見交換する事で、次の対応につなげていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	① 担当職員が中心となりご本人のやりたいことなどを確認し、会議では気づいた事など話し合うことで、次の支援へとつなげることが出来ていた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄	よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計(総人数)
① 「本人の目標(ゴール)」がわかっていますか?	2	○9	2		13
② 本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	2	○9	2		13
③ 本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	3	○9	1		13
④ 実践した(かかわった)内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	○4	9			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者のできることを選択し、一日の生活の中で楽しんでもらうようにしている。 ・ご利用者について、把握したことや気になる事について会議で話し合いできている。 ・自分の担当ご利用者について個々で気になる点など、職員同士で情報共有し確認するよう心掛けている。ケア会議でも、問題点や改善点などの話し合いが出来ている。会議だけではなく、普段からうまくいったケアなどを記録や申し送りで情報共有し実践することができている。 ・ケアマネの作成したプランを確認し、ご本人・ご家族の意向、達成目標を把握するように努めている 	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ご利用者が意思を思うように表現できない方への思いをくみ取ることが難しい。 ・ご利用者が目指していることに近づけるような関りができていない。ニーズにまで踏み込んだコミュニケーションが図れていない。 ・ご利用者によっては、目標、実践まで達成できていない。機能訓練など、実施日に出来ていないと思う。 ・目標は分かっているが、実践できていなかったり、振り返りが足りない部分がある。 	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
① リハビリは、その日の担当を決めて(ホワイトボードを活用)行うことにし、全職員がご利用者の状態を把握出来る様にする。 ② 毎日の午後のミーティング時に、ご利用者1名を抽出し話し合う時間を設ける。その際は、出来ていない事だけではなく、出来ている事にも目を向けるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月5日(13:30~14:00)

3. 日常生活の支援

メンバー 武石 清川 金濱 館 内山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	09	2		13

前回の改善計画	
① より良いモニタリングと支援計画、チームケアにつなげていくために、ミーティング時に毎日ケアプランを確認し、支援状況や情報共有する時間を作る。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
① 毎日のプラン確認はできていないが、ご利用者から訴えがあった時はケア記録に残すとともその日のリーダーへ報告し、そこから共有ができています。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		09	3	1	13
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	6	07			13
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	07	4		13
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	07	6			13
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	010	1		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">ご本人の「できる事」を見極めて支援ができています。出来ない事にばかり目を向けず、ポジティブな考えでの関りをしている。これまでの生活歴や現在の状況を把握するように努めている。ご本人の話に耳を傾け、話を聞いた時にはそこから「どう思っているのか」、「何をして欲しいのか」を考え行動するようにしている。状態や状況変化がある際は職員で情報共有し、適切なケア方法を話し合い支援している。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">ケア記録や申し送りに、プランに沿った内容の記載が少ない。また、リーダー経由での伝達になる為、内容にズレが生じる事がある。ケアプランの確認は、会議の時と変更時の時程度しか確認できていなかった。訪問のみの方については関りが少ない事もあり、他職員から情報を聞くことはあっても自分でその状態を確認することができないので、支援の計画などに意見が出せない。ご利用者から「菜園をやりたい」などという要望をケース会議で話し合えていない。その為、事業所で得意な事などが出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">① ミーティングは体調面だけではなく、プランに沿った申し送りを行う。② リーダーを経由せずに、関わった職員が他の職員に伝える様にする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月6日(13:30~14:00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 高村 橋 金光 清川

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?		4	0	6	3

前回の改善計画
① 地域でみていく為に、民生委員の役割や社会資源の内容、活用するまでの流れについて勉強会を通じて理解する。

前回の改善計画に対する取組み結果
① 民生委員や社会資源を個々に調べる職員もいたが、全体として学ぶ時間を設けることができず、役割や内容、活用までを理解するまでには至らなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)	
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	1	0	9	3	13	
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		0	8	5	13	
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		0	9	3	1	13
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		5	0	6	2	13

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・ご本人・ご家族、介護者からの情報や訪問サービスを通して自宅でのどのように過ごしているか把握している。不安があればケアマネに伝え、ご家族にも確認をし、安心して生活できるように努めている。
 ・地域との関りが切れないように支援をしたり、以前の暮らしぶりに近づくことを基本的な目標にしている。
 ・長期宿泊になり、ご本人となかなか会えないご家族へは事業所の様子を伝え、つなぐ支援をしている。
 ・③に関しては、訪問サービススタッフから自宅での様子など主観を聞くことができている。それを客観化しサービスへつなげている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・地域との関りに対する支援ができていない。
 ・事業所での様子は把握できているが、自宅での生活スタイルが分からない所もある。
 ・社会資源や民生委員の役割について理解や把握ができていない。また、実際に民生委員の方と実際に接する機会がない。
 ・異動して間もないため、地域の事を把握しておらず、資源や民生委員等も関わりを知らない。
 ・ひとりの社会人としてどのような生活を送ることができるのか今後の予後、予測を考えていない。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 ① 民生委員や社会資源について、会議で具体例を取り上げてチーム全体としてどのような役割ができ、取り入れていけるのか学んでいく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月7日(13:30~14:00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 武石 清川 金光 下川原 館

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		○10	3		13

前回の改善計画	
① 地域資源が何であるか不明な内容があったので地域資源の一覧表を作成しファイルで明解にする。 ② 訪問で対応に苦慮し支援が出来ない状況がある一方で、支援者が代わると支援が出来た内容が申し送りされてない事があるので、支援が出来た事柄を忘れず入力し情報共有できるようにする。	
前回の改善計画に対する取組結果	
① 地域資源についての一覧表を作成していなかった為、職員の理解を深めることが出来なかった。担当を決め、一覧表を作成した方が良かった。 ② ケア記録や日々のミーティング、申し送りで情報共有出来ている。様子や状態など記録を細かく記入していることで、支援者が代わっても対応する事ができている。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	2	○6	5		13
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	○6	1		13
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	5	○7	1		13
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	○7	1		13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・必要な資源を適切な分使って支援できていると思う。配食や行きつけの床屋利用など、地域の資源を活用し支援できている。 ・状態変化やリスク評定によって支援方針や方法の変更が必要な場合は、支援方法の変更を管理者・ケアマネ、その日の出勤者が暫定的に決定し、柔軟に支援できている。 ・ご利用者の体調、ご家族の意向などに沿ってサービスを上手に調整できている。体調不良や変化等申し送りで情報共有できている。 ・訪問時のケア記録はご本人との会話を含めて細かく記入するようにしている。	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・支援者側からだ、「わるい変化」をとらえがちになり「良い変化」に着目できていない。 ・今現在ここで使っている資源については理解できているが、その他について理解できていない。 ・妥当なサービスか分からなく思う時がある。 ・関わり時に見られた変化を記録に落とすことができていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
① 訪問等で支援内容の変更を感じた時には申し送りに上げ、必ずミーティング時に職員で検討してからサービスに取り入れてもらうようにする。スタッフ間の考えを一致させ、一貫した方向性に向かって全員が支援できるようにしていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月10日(13:30~14:00)

6. 連携・協働

メンバー 岩館 金濱 田澤 下川原 館

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1	07	5		13

前回の改善計画	
①	地域貢献・広報委員会を中心に掲示板の内容を定期的に検討し、地域の方に小規模多機能居宅介護や施設の様子を知って頂く。
②	サービス担当者会議に、ケアマネだけではなく事業所職員も参加し、他のサービス機関との連携・協働を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	
①	掲示板に広報誌を掲示し施設の様子を知って頂くようにしていた。しかし、現在掲示板は風の強い日に壊れてしまい、地域の方からのご意見で撤去している。
②	新型コロナウイルス感染拡大により、サービス担当者会議にケアマネ以外の職員が参加する事は出来なかったが、必要な情報は事業所職員へも情報共有しチームとして連携・協働が出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等)の他事業所との会議を行っていますか?	2	05	2	4	13
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	05	2	4	13
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?		3	2	08	13
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		2	2	09	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広報委員会が中心となり、広報誌やホームページを更新し事業所を知って頂くようにしている。 ・ 管理者やケアマネージャーが地域とその他のサービス機関へ参加している。 ・ 事業所の外にも広報を貼り、地域の方にも小規模多機能の施設内容を知ってもらえていると思う。 ・ 地域包括支援センターから相談やご紹介が多い。困難ケースも柔軟に対応し、信頼関係を築いている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外部との交流はほとんど出来ていない。 ・ 新型コロナウイルス感染症の為、地域や各機関との関りはほとんどなく、活動も控えられている。 ・ サービス担当者会議に事業所職員が参加できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①	オンラインを活用し、学生や園児など地域との交流を図っていく。
②	今後、医療ニーズの高いご利用も増えてくる為、その他のサービス機関や地域包括支援センターとの会議にオンラインで看護師や職員も参加できるように、体制づくりをしていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月11日(13:30~14:00)

7. 運営

メンバー 武石 斉藤 岩館 清川 橋 内山

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	7	3		13

前回の改善計画	
① 町内会の掲示板を使用させていただけるかを確認し、掲示していただければ事業所の活動を知っていただくためのチラシを作成する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
① 町内会の回覧板を活用したり、広報誌やホームページで事業所の情報発信を行った。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	1	○7	5		13
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	2	○9	2		13
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	○5	7		13
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	1	4	○6	2	13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・ 広報誌やホームページ、町内会の回覧によって事業所の様子や活動を発信する事ができている。・ ご家族にアンケートで聞き取りを行い、運営に反映している。・ 運営推進会議や文章にて、サービス評価の進捗状況を報告し、意見や感想を聞くことができた。・ 事業所のあり方については、会議などで自分の意見を伝えている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none">・ 地域行事は中止が相次ぎ、地域との関りが希薄になっている。地域からの声が届いていない。・ 地域の方の意見など、例えば運営推進会議の内容など職員全員に情報共有できていないと思う。・ 敷地内を通っているが、近隣住民の方と交流が少ない。・ 管理者、ケアマネは家族、地域の方から意見を直接もらうこともあるが、自分が意見を聞くことがほとんどないので、どういう苦情や意見があるのか分からない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	<ul style="list-style-type: none">・ 来年度も職員が交代で広報誌、ホームページを活用し事業所内の情報を発信する。・ 地域活動開催時には参加し、地域の一員としての役割を担っていく。Zoomで小学校(地域)と交流会等。・ 近くのよこまちスーパーに広報誌を掲示し、地域住民へ情報発信する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月12日(13:30~14:00)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 武石 齋藤 田名部 橘 田澤 下川原

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3	0	9	1	13

前回の改善計画	
①	コンプライアンスについての勉強会の実施やケア会議で言動を振り返り、倫理観の共通意識の統一を図る。
②	インシデント・アクシデントについての対応策について、「なぜそのようになったのか？」までを検討し、再発防止に努めていく。また、定期的に振り返りをし、その時に合った対策を都度検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果	
①	コンプライアンスの勉強会は出来たが、振り返り、共通意識の統一までは出来なかった。
②	インシデント・アクシデントの対応策について、申し送りで話し合い出来ているが要因までの話し合いは出来ていない。定期的な振り返りも出来ていなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	4	0	9		13
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	0	7	3	13
③	地域連絡会に参加していますか	2	0	3	2	6
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	2	0	1	0	10

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 毎月eケアラボでテーマ毎の研修を行い、スキルアップに繋がっている。 職場内の研修、リスクマネジメントに取り組んでいる。 インシデント、アクシデントについては当日、又は翌日に検討できている。 昨年はおなじ事故が続いていたが、原因と対策を考え再発防止になっている。報告書と会議で情報共有できている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	<ul style="list-style-type: none"> 地域連絡会を実施していない。 個人的なスキルアップ研修を行っていない。 チームとして意識の統一を図ることができていないと思う。倫理観の共通意識が統一できていない。 スキルアップの為、研修に参加したいが許可がでない。 事故が起きる要因について話あっていない。なぜ事故が起きたのかまでの話し合いができていない。 職場外への研修に参加できていない。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
①	コンプライアンスの勉強会后、話し合い共通意識の統一を図る。
②	インシデント・アクシデント発生時「どうしてできていなかったか」までを話し合い、振り返り検討する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和4年10月9日(13:30~14:00)

9. 人権・プライバシー

メンバー 武石 岩館 高村 金光 田澤 館

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2	○10	1		13

前回の改善計画	
① 成年後見制度や個人情報管理について勉強会を行い、理解を深める。 虐待やプライバシーについて話し合う場を設け、職員の考え方を統一する。	
前回の改善計画に対する取組み結果	
① 成年後見制度の認識はあるが、制度の活用に至るまでのプロセスを学ぶ時間を設けることができず、理解するまでに至らなかった。 Eラーニングの研修プログラムを活用して虐待、プライバシーを学ぶことはできたが、職員間において かかわり方の統一する話し合いを定期的にできなかった。	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	○8	5			13
②	虐待は行われていない	○11	2			13
③	プライバシーが守られている	6	○7			13
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	2	2	○8	13
⑤	適正な個人情報の管理ができている	○6	7			13

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・利用者によって個人情報や家族関係など、知られたくないと要望がある方に関して気を付けている。 ・個人情報などの書類は整理、管理はできていると思う。 ・虐待について内部研修を行い理解できている。また、プライバシーの配慮にも気を付けている。 ・虐待は行っていない。身体拘束についてeラーニングを活用し、学習できている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・成年後見制度について理解できていない。 ・帰宅欲求のご利用者に対して玄関の鍵をかけたことがあった。職員が不足してる時など利用者に対して言葉でのスピーチロックしている時がある。職員間での意識の違いがある。 ・玄関のドアの開閉を職員が管理している。外へ行きたい欲求に対して玄関が開かず、行動を制限しているように感じる。感覚的に閉塞的な印象を受ける。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	・成年後見制度の勉強会を定期的に設け、他者へも教えることができるように自身の理解を深める。 ・委員会などが中心となり実際に行ったケアの具体例をあげ、成功例と失敗例を通じて何が虐待やプライバシーが守られていたのか会議で話し合い、意識を統一していく。